

未来からの留学生



認定こども園あかみ幼稚園 園長 中田幸子
認定こども園メイプルキッズ 施設長 長島弥生

ご入園、ご進級おめでとうございます

風軽やかに、花香る季節となりました。お子様のご進級・ご入園おめでとうございます。子どもたちが全学年そろい、園庭はにぎやかな声でいっぱいです。



進級した子どもたちは、新たな学年への期待や、新たな場所、保育者に戸惑う様子も見られながらも、今まで楽しんでいたおもちゃや素材、一緒に進級した友だちや保育者と過ごすことで安心してきています。

4月から新しく入園した子どもたちは、初めて保護者の方から離れての園生活に、ドキドキワクワクしながら楽しく体を動かしたり、ときには、帰りのお迎え時に保護者の方の姿をみて、ほっとして涙を見せたりすることもあります。一日も早く、安心して園生活が送れるよう、落ちつける場所や遊びが見つかるように関わっていきます。



また、乳幼児期は、情緒的な絆が形成される時期です。大人は、子どもの声や行動に耳を傾けたり、受け止めたりしながら共感することを大切に、そのことを発展させたり時には修正したりしていきます。また、興味関心があるものに触れたり、園庭を歩いたり、走ったり、登ったり試したりすることで、基本的な運動機能や思考が発達していきます。



今年度も、保護者の皆様と子どもたちの成長をともに喜び合っていきたいと思います。職員一同よろしく申し上げます。

さて、令和5年度4月1日より **こども基本法**が施行されました。

日本で初めて子どもの権利について明記された、子どもたちの最善の利益を守るための法律です。認定こども園あかみ幼稚園・メイプルキッズでは入園時に頂く承諾書の中にも記載してありますとおり、今までも子どもたちの最善の利益を大切に保育を進めてきました。今年度、法律として施行されたことで、すべての大人が、子どもの権利や意見表明権について改めて考え、尊重できるようになることを願います。そして、この法律は、子どもたちだけではなく、子どもを産み、育てる、保護者のみなさんが、子育てしやすい環境になるように定められたということです。親が安心して過ごせるということは、子どもの安心と安定を保障することの大切なことの一つです。

このこども基本法の施行で、すべての大人たちが、すべての子どもたちの最善の利益を守っていけるようになることを願います。

